

# 横浜市山内図書館 平成22年度事業計画書

指定管理者名 有隣堂グループ

## 1 施設の概要

施設名	横浜市山内図書館
所在地	横浜市青葉区あざみ野二丁目3番地の2
構造・規模	鉄筋コンクリート造3階建（図書館部分：2階）
延床面積	2,147平方メートル

## 2 指定管理者

法人名	有隣堂グループ
所在地	横浜市戸塚区品濃町881-16
代表者	株式会社 有隣堂 代表取締役 松信 裕
指定期間	平成22年4月1日～平成27年3月31日
主な受託実績	株式会社 有隣堂 指定管理者実績：大田区立大森東図書館、綾瀬市立図書館、横浜市竹之丸地区センター・市沢地区センター・港南台地区センター・永谷地区センター 業務委託実績：川崎市立麻生・多摩・高津図書館、秦野市立図書館、伊勢原市立図書館、大磯町立図書館 三洋装備 株式会社 指定管理者実績：小山市民文化センター・小山中央公民館 業務委託実績：横浜市山内地区センター、横浜市美しが丘西地区センター 他35か所

## 3 指定管理業務の方針

### (1) 基本的な方針

山内図書館の図書館基本業務をしっかりと継承・維持・強化し、サービスを増加させ、市民の生活や活動を支援・応援して、身近で親しみやすい生活密着図書館を目指します。山内図書館のサービスの基本理念は以下の3つです。

#### ①地域情報拠点機能の強化

地域の実情を研究し、必要とされる情報の収集と利用者満足度の高い提供方法を検討・実施していきます。

#### ②課題解決支援機能の強化

生活情報へのアクセシビリティを高め、「ここにくればわかる」図書館を目指すとともに、自助自立の精神をもって市民の情報リテラシー向上を支援します。

#### ③地域の特色に合わせた個性ある地域図書館

新たに設置する利用者会議「山内図書館利用者フォーラム」からの意見をはじめ

め、地域の団体や自治会など地域の方々の声を運営へ反映させます。また自主企画事業での共同企画やボランティア団体や子どもの図書館活動への参加機会創出など、市民の活動の場を提供します。

## (2) 22年度の位置づけ

平成22年度は横浜市山内図書館指定管理業務5年間の初年度にあたります。30年以上にわたり山内図書館が築き上げてきた図書館サービスを継承し、新たな取り組みを開始するための基盤作りを行います。横浜市初の指定管理による図書館として、横浜市立図書館条例・規則・諸基準・目標等を理解し、全館共通のサービスについてしっかりと継承する体制を作ります。同時に、民間のノウハウを活用し、新たな自主企画の開催や、山内堂による物販などにも取り組みます。学校連携・地域連携等についても取り組みを開始します。図書取次サービスの強化やサービス拠点不在地区の利便性向上の検討などに取り組みます。指定管理による図書館運営を行うにあたっては、スタッフを安定させる基本研修とともに、サービスの質の維持・向上のためのスキルアップ研修やフォローアップ研修を行います。

## (3) 22年度の目標

- ・レファレンスカウンターにデジタル資料検索専用パソコンを設置し、日経テレコン21などの有料データベースを導入し、利用者に図書資料とデジタル資料を合わせて提供することで**市民が必要とする資料・情報を収集、提供**します。
- ・ホームページ・メールマガジン・ブログなどの新しい媒体を利用して、地域資料の紹介や話題の本を紹介します。また、山内図書館の存在や活用法をPRするとともにイベント情報やニュースを配信して**資料・情報と市民を結び付け**ます。
- ・「**横浜市子ども読書活動推進計画**」に基づき、**子どもの読書活動を推進する為**、おはなしボランティアに向けた養成講座を行い、ボランティアの増加と共にレベルアップを図ります。また、学校連携担当を配置し、学校支援体制を整えます。
- ・「山内図書館利用者フォーラム」を開催し、利用者の声を反映します。また青葉区民交流センター、あおば国際交流ラウンジまつりにブース出展するなど、**市民や外部機関と連携し協働を進め**ます。
- ・横浜市立図書館として初めての試みである指定管理者の成功に向けて務めていきます。また、有料宅配を試験的に実施するなど**これからの図書館を考える取組を進め**ます。

## 4 各種業務計画

### (1) 自主企画事業

別紙1「自主企画事業年間計画」による。

### (2) 学校連携事業

別紙2「学校支援年間計画」による。

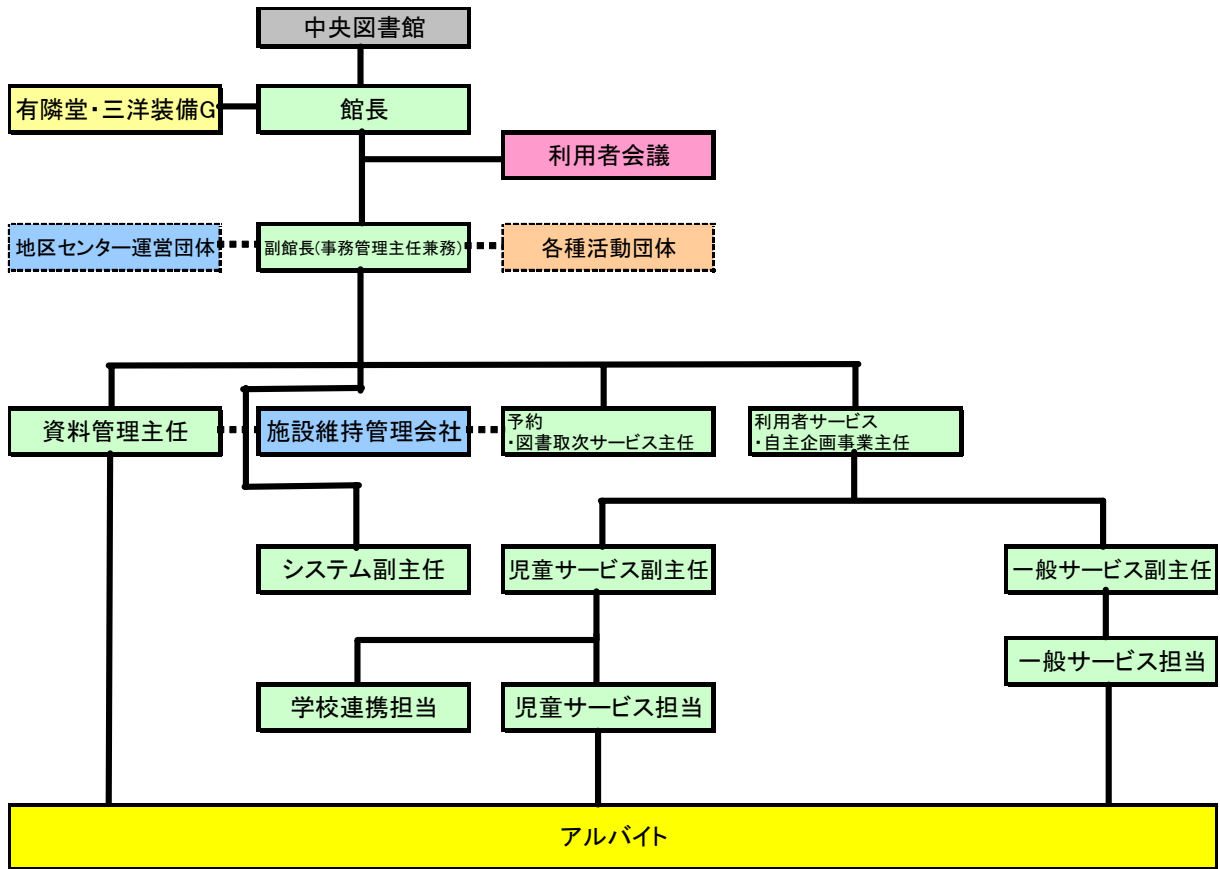
### (3) その他の事業

- ・レファレンスカウンターを「やまうちよろず相談処」とし、レファレンス専用カウンターとします。
- ・無線LAN環境を整え、図書資料と共に、インターネットの情報を得られる環境を整え、利便性を図ります。
- ・民間のノウハウを活かして「山内堂」を開店し、図書館で必要な文具やエコバックを販売するほか、書籍の販売も行います。

## 5 施設運営及び管理に関する計画

### (1) 人員配置及び研修

[組織図]



[研修]

	対象	講師・講座	時期	回数(／年)
個人情報保護研修	職員全員	有隣堂 受託サービス課 課長	春	1
レファレンスサービス	アルバイト	利用者サービス・自主企画事業部 主任・担当者	春・秋・冬	3
児童サービス	児童サービス主任・担当	JLA「児童図書館員養成講座」(予定)	夏・秋	2
障がい者サービス	一般サービス主任・担当	JLA「障害者サービス担当職員養成講座(基礎)」(予定)	夏	1
防災・防犯研修	職員全員	消防署 警察署	夏・冬	2
情報機器研修	職員全員	システム担当	システム更新時	

参考: 配置前研修

	対象	講師・講座	時期	回数(／年)
図書館基本技術の確認	職員全員	主任職員	配置前	1
接客応対研修	職員全員	有隣堂 店舗支援室 接客技術講師	配置前	1
山内図書館地域研修	職員全員	青葉区の郷土史研究団体	春もしくは秋	1
環境保全研修	職員全員	有隣堂 環境対策担当	配置前	1
救急法研修	利用者サービス ・自主事業業務主任	救急法基礎講習(日本赤十字社)	運営前	1
情報機器研修	職員全員	システム担当	配置前	1
個人情報保護研修	職員全員	有隣堂 個人情報対策担当	配置前	1

## (2) 施設の保守・管理

[業務内容]	[達成指標]
建築・設備の保守管理	業務水準通り適切に維持管理を行う。
警備業務	防犯、安全管理のため、警備会社に委託し、夜間等保安警備業務を行う。
清掃・環境衛生管理	業務水準通り適切に維持管理を行う。 床面定期清掃については、ワックスを剥離し、美観を保つ。

## (3) 広報、ニーズの把握、情報公開

### [広報]

図書館からの情報発信は、青葉区報「あおば」をはじめ、館内ポスター掲示などの紙媒体で発信すると共に、ホームページ・メールマガジン・ブログ・ツイッターなどの電子媒体を使って若い世代からご高齢者まで幅広い広報活動を行います。

また、タウンニュースやイツコムなどに働きかけ、図書館情報を地域の利用者へ提供します。

### [ニーズの把握]

カウンターでの利用者からの口頭でのご意見、意見箱からの利用者の声や、イベント時でのアンケートなどから利用者ニーズを把握します。また、ツイッターからの質問や感想などからも利用者ニーズを把握します。

### [情報公開]

横浜市の保有する情報の公開に関する条例の趣旨にのっとり、「横浜市山内図書館情報公開規程」を定め、有隣堂グループが行う山内図書館の管理業務に係る情報を公開するよう努めます。この場合において、個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をします。

## (4) 危機管理

- ・危機管理マニュアルを作成し、図書館に起こりうる危機（災害・事故・犯罪・迷惑行為等）に備えた教育・研修を実施します。
- ・危機管理のための防災計画を作成します。年2回の防災訓練を実施し、計画の有効性を確認します。また、隣接する地区センターや市・区・警察署・消防署などとの連携を確認し、いざという時に備える体制作りを行います。
- ・警備については、巡回により、利用者の安心感を高めるとともに、防犯マニュアルを作成し、マニュアルに基づく研修・訓練を実施します。

## (5) 自己評価

館長を座長として職員全員と共同企業体構成企業による「セルフモニタリング会議」を開催し、半期ごとに2段階による自己評価を行います。インプット・プロセス・アウトプット・アウトカムの4つの視点での第一次評価、山内図書館基本理念の達成度合いのチェックとしての第二次評価をし、「セルフモニタリング報告書」として、市及び「山内図書館利用者フォーラム」に報告後ホームページ等で市民に公表します。

## 6 収支予算計画

項目	予算額	備考
<b>収入</b>		
指定管理料	167,609,000	
事業収入	280,000	自主企画事業等収入
その他収入	200,000	自販機等売上手数料等
合計	168,089,000	
<b>支出</b>		
人件費	79,200,000	給与、法定福利費、通勤費等
事業費	9,996,000	自主企画事業等経費
事務費	23,401,000	広報・通信費、事務用品費、公租公課等
管理費	55,492,000	水道光熱費、施設管理費、修繕費等
合計	168,089,000	
<b>収支計</b>	<b>0</b>	

## 山内 図書館・課 平成22年度自主企画事業年間計画表

(様式1)

平成21年度自主企画事業の振り返り
平成22年度自主企画事業実施方針
<p>1. 青葉区をテーマにした企画を実施し、地域資料の紹介を通して、地域の情報拠点としての機能を強化する。</p> <p>2. 子どもから大人まで自分で調べられるセルフファレンス講座を行い、課題解決型図書館を目指す。</p> <p>3. 未利用者に向け、図書館利用のきっかけづくりとなる講座を行い、特色のある図書館を周知する。</p>

## 実施予定事業月別一覧

月	キャン ペーン	事業名	記者発表 の有無	ミニコミ への情報 提供の有 無	備 考
4月	春	春の特別おはなし会	有	有	
5月		講座「青葉区の歴史を学ぶ」 講座「青葉区の自然を学ぶ」花編 全2回	有 有	有 有	
6月		空とぶじゅうたん 大人のためのおはなし会 国民読書年事業 横浜国立図書館PR企画読書の空間	有 有	有 有	
7月	夏 夏 夏	講座「青葉区の自然を学ぶ」生き物編 全2回 小学生のためのお話とブックトーク 子供向け調べ物講座	有 有 有	有 有 有	
8月	夏 夏	1日図書館員(低学年) 1日図書館員(中・高学年)	有 有	有 有	
9月		図書館キッズサポーター募集 読み聞かせボランティア養成講座	有 有	有 有	
10月		空とぶじゅうたん 大人のためのおはなし会 講座「青葉区の歴史を学ぶ」 手作り布絵本製作講座 3日間コース	有 有 有	有 有 有	
11月		青葉おはなしフェスティバルへの参加 あおば国際交流ラウンジ祭り・ブース出展 講座「青葉区の自然を学ぶ」樹木編 全2回	有 有 有	有 有 有	
12月		男女参画センターセット展示 日経woman編集長麓幸子さんが選んだ25冊「女のキャリアのつくり方～考えてみよう仕事と暮らしのバランス～」	有	有	

1月～3月は裏面に				
1月	セルフケア講座	有	有	
2月	空とぶじゅうたん 大人のためのおはなし会	有	有	
3月	横浜の歴史パネル展示	有	有	

職員による定例おはなし会（定例おはなし会、親子おはなし会、福祉保健センター連携事業等）

事業名	対象	日時

ボランティアによる定例おはなし会（職員との協働も含む）

事業名・団体名	対象	日時
ボランティアと職員の協働 空とぶじゅうたん絵本と語りおはなし会	3歳以上 1人 でおはなしと聞 ける子	毎月第2・4水曜日 15:30～16:00
ボランティアと職員の協働 空とぶじゅうたん絵本と語り親子おはなし会	1歳以上の子どもと保護者	毎月第2・4金曜日 ①11:00～11:20② 11:30～11:50

\* 不定期おはなし会は、主催者（職員・ボランティア）を明記の上、月別一覧に記入してください。

		図書館 の動き	学校 の動き	図書館 見学	来館調 べ学習	職業体験・ 職業インタ ビュー	学校訪 問 (フットー ク・図書館 整備など)	「まち」読推進校訪問・ 懇談・学校ボランティア 向け研修	「区内図書 研究会・教 職員向け講 習	教職員貸出
4月	上旬	異動	新学期							随 時 受 付 ◎
	中									
	下旬	子ども読 書の日読						◎説明会参加		
5月	上旬	書の日読							B研修参加	
	中	書週間						◎指定校訪問(懇談)		
	下旬							読み聞かせ講座		
6月	上旬			◎	○					
	中			◎	○			◎指定校訪問(懇談)		
	下旬	蔵書点検		◎	○		○			
7月	上旬			◎			○	◎指定校訪問(懇談)	B研修参加	
	中	夏休み	夏休み				◎	◎指定校訪問(懇談)		
	下旬	各種プロ グラム								
8月	上旬									
	中									
	下旬									
9月	上旬			◎		○				
	中			◎				連携プログラム実施		
	下旬			◎	○			連携プログラム実施		
10月	上旬				○	○				
	中				○	○				
	下旬	読書週間			○					
11月	上旬	関連事業					◎	連携プログラム実施		
	中						◎			
	下旬						◎			
12月	上旬						◎	連携プログラム実施		
	中						◎			
	下旬		冬休み							
1月	上旬									
	中									
	下旬									
2月	上旬			◎		◎				
	中			◎		◎				
	下旬			◎		◎		ボランティア交流会		
3月	上旬									
	中									
	下旬		春休み							

\* 現時点では大項目のみ記入

\* ◎は特に頻度が高く、重点を置く時期 ○は比較的頻度が高い時期